

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 新国際交流の推進にあたっての翻訳・通訳事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部観光国際局 国際交流課 国際交流係 電話番号：058-272-1111 (内 3113)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 960千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 960 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 960 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国際交流分野において、Web 会議を通じた交流が進むなど翻訳等の需要は増大していることから、当該需要に迅速に対応する必要がある。

(2) 事業内容

県が行う国際交流事業を円滑に展開するため、Web 会議等において必要な翻訳・通訳について、ワンストップサービス機能により、適切な品質を確保し迅速な対応を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

新型コロナウイルス収束後の国際交流の拡大を見据え、Web 会議をはじめとするデジタルを活用した交流が進むなど、翻訳等の需要も増大していることから、当該需要に迅速に対応する体制を早急に確保する必要がある。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|------------------------------|
| 委託費 | 960 | 運営スタッフ人件費、翻訳・通訳経費、消耗品費、通信運搬費 |
| 合計 | 960 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

事例なし。

(2) 後年度の財政負担

今後も引き続き 新型コロナウイルス収束後の交流拡大を見据え、財政負担は必要。

(3) 事業主体及びその妥当性

国際交流事業を円滑に展開するためには必須の施策であり、県は事業主体として妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 コロナ禍、及び新型コロナウイルス収束後の国際交流の拡大を見据え、翻訳等にかかるワンストップサービス機能により、オンラインによる交流拡大に伴い増加するこれまで交流のなかった国からの働きかけ等に迅速に対応する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R元) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 | |
|---------------------|---------------|------------|------------|------------|------|-----|
| | | | | | (R4) | 達成率 |
| ① Web 会議等での通訳・翻訳の実績 | 0 | 4 | 10 | 12 | 12 | 33% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | |
| 令和3年度 | <p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p> |
| 令和4年度 | <p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 在住外国人の増加、国籍構成の多様化、またオンラインによる交流の発展、新たな国からの交流の働きかけの増加など、県の国際交流が拡大・深化しており、より一層の多言語での翻訳等が求められている。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナ禍、及び新型コロナウイルス収束後の国際交流の拡大を見据え、これまで以上に、海外における岐阜県のプレゼンスを高めるため、県内市町村、教育機関等と連携し、県民の多様な国々への関心や国際交流への機運を高めしていく必要があるため、翻訳・通訳への迅速な対応が必要である。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | |